



t
design & art festival 2021

w
www.designart.jp

m
info@designart.jp

DESIGNART TOKYO 2021 REPORT

DESIGNART TOKYO 2021 報告書



CONTENTS

目次

- 02 **CONCEPT**
コンセプト
- 03 **RECORD**
実績
- 04-05 **EXHIBITIONS**
展覧会
- 06-07 **OFFICIAL PROGRAMS**
オフィシャルコンテンツ
- 08 **AWARDS**
アワード
- 09 **CREATIVE CONFERENCE BRIDGE**
クリエイティブ カンファレンス ブリッジ
- 10 **EVENTS**
イベント
- 11 **SALES RECORD**
販売実績
- 12 **EXHIBITORS**
出展者
- 13 **OPENING CEREMONY**
オープニングセレモニー
- 14 **TOOLS**
制作物
- 15-19 **ONLINE CONTENT**
オンラインコンテンツ
- 20-23 **PRESS**
掲載実績
- 24 **CREDIT**
クレジット



CONCEPT

コンセプト

CHANCE!

かつてないチャンス

What

DESIGNARTとは

世界屈指のミックスカルチャー都市、東京を舞台に、アート、デザイン、インテリア、ファッションなどが多彩なプレゼンテーションを開催する日本最大級のデザイン&アートフェスティバルDESIGNART TOKYO。5年目となる2021年は、長引くコロナ禍の影響もあり、あらゆる局面で先行き不透明な社会が続く中、今こそ新しいアイデアやクリエイティブな思考が必要とされるという考えのもと、「CHANCE! ～かつてないチャンス～」をテーマに、新時代の価値創造に挑戦するデザイン・アートを集結させました。

分散回遊型イベントとして、感染対策を十分に行った上で、都内84の会場を舞台に多くの出会いを生み出すとともに、昨年に引き続きSNSやWEBサイトなどのオンラインコンテンツを充実させ、ハイブリッドに世界に向けて発信を強め、新たな発見や感動を届けました。

Outline

開催概要

主催

デザイナーートーキョー実行委員会

期間

2021年10月22日（金）～31日（日）

参加者団体

国内外から集まるデザイナー、アーティスト、プロジェクト、ブランド、企業、ショップなど

ターゲット

国内外から東京に集まる流通関係者、企業、バイヤー、プレス関係者、デザイン、アートなどに関心のある一般消費者、学生など

Venues

会場

表参道、青山、原宿、渋谷、六本木、銀座などに位置する84箇所（91出展者）のショップやギャラリーなど





RECORD

実績

世界中から個性豊かなデザイン・アートが集結、作品を通して多くの出会いや感動が生まれた10日間に約18万人が来場。

来場者数

のべ181,600人

Web&SNSコンテンツ

約113万ビュー

(9月1日~11月18日 *プラットフォームにより異なる)

メディア掲載数

512記事

(11月18日 時点)

会場数

84会場

出展者数

91組

参加クリエイター&ブランド数

約300名

マッチング数

44組

オフィシャルポスター発行部数

500部

オフィシャルガイドマップ発行部数

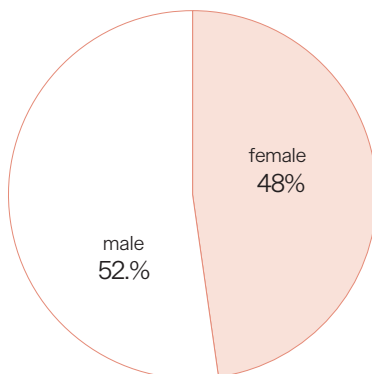
30,000部

実施オンラインコンテンツ

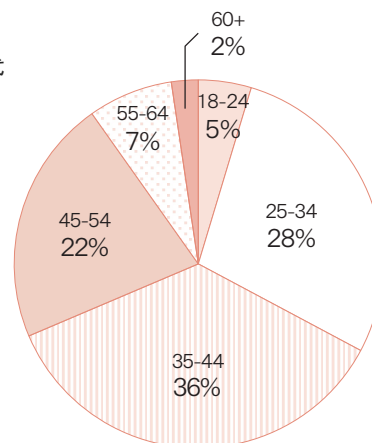
- ・ 出展者動画プレゼンテーション (YouTube)
- ・ デジタルガイドマップ (issuu)
- ・ オンラインマップ (Google Map)
- ・ ライブリポート (Instagram)
- ・ オンラインエキシビジョン (Matterport)
- ・ ベストリポートチャレンジ (Instagram) など

SNSフォロワー属性

性別

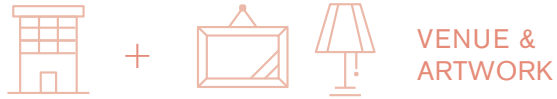


年代





EXHIBITIONS PLAN A



展示場所と作品の両方をご用意いただいた出展者

出展者 プランA

Velocity of Colours at FLEXFORM TOKYO

建築家石田健太郎のインスタレーションとMAHO KUBOTA GALLERYキュレーションによるアート作品がFLEXFORMの家具と調和した特別な空間。



Window on the Future - Gaudí Meets 3D Printing at TOKYO MIDTOWN

YKK AP株式会社と鈴木啓太/PRODUCT DESIGN CENTERがガウディの窓に着想を経て、誰も見たことのない全く新しい窓のコンセプトを提案。



Sho Ota x Januka jewelry at Januka shop

オランダを拠点とする注目デザイナー太田翔とジュエリーブランドJanuka。先入観にとらわれない2人の作品が共存。



Julio Le Parc at Ginza Maison Hermès Le Forum

エルメス財団は、鮮明な印象をもたらす「色」をテーマに、ジュリオ・ル・パルクの日本での初個展を開催。



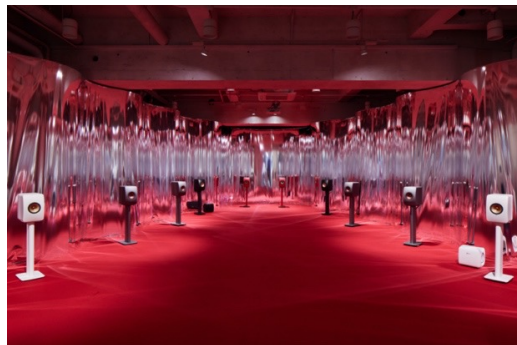
KNS / Karimoku Case Study / MAS / ILBK at Karimoku Commons Tokyo

ZAHA HADID DESIGNとカリモク家具のコラボレーションによって生まれた新作家具を中心に、デザイナーの功績を辿る展示を展開。



KEF 60 YEARS - Listen & Believe at Polygon Aoyama

スピーカーブランドKEFが、Klein Dytham architectureとともに作り上げた、ハイレゾ・サウンドに吸い込まれていく没入体験。





EXHIBITIONS PLAN B&C

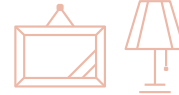
出展者 プランB&C

マッチングにより展示を実現



VENUE ONLY +

展示場所をご用意



作品をご用意

ARTWORK ONLY

MULTISTANDARD at shibuya serumo building

注目の若手クリエイターグループMULTISTANDARDが実験的なものづくりを続ける同世代の作り手を招集し、渋谷の廃ビルを占拠。



Tatsuro Shoji - ATOMIC ELEMENTS at BUNKITSU ROPPONGI

文喫 六本木にて若手クリエイター庄司竜郎が、カタチを持つ多様な可能性を引き出す造形実験プロジェクトを展開。



Kazuto Imura - opticalverse at Salvatore Ferragamo GINZA FLAGSHIP

サルヴァトーレ フェラガモ秋冬コレクションとアーティスト井村一登の作品が共鳴し、ウィンドウにオプティカルな宇宙が出現。



ambi - ghost at Y's OMOTESANDO

独特な素材や制作アプローチにこだわるデザインデュオambiが、Y's表参道ヒルス店にて、ミステリアスな存在感を表現。



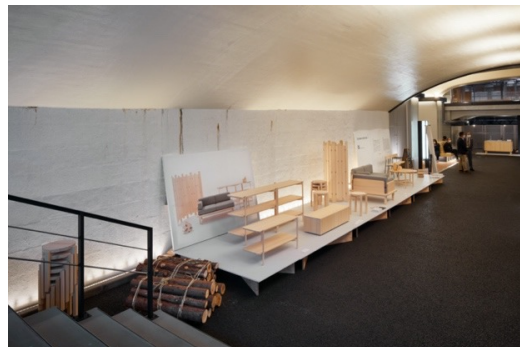
Bloom by Johnny Chiu x KOBE Leather at World Kita Aoyama

台湾の建築家ジョニー・チウと日本のマイスター集団KOBE Leatherによるラグジュアリーアウトドアチェアが初お披露目。



TSUYAMA FURNITURE and 8 exhibitors at HIBIYA OKUROJI

有楽町～新橋駅間をつなぐ、全長300mの高架下空間「日比谷OKUROJI」内に津山家具ほか8組の出展者が集合。



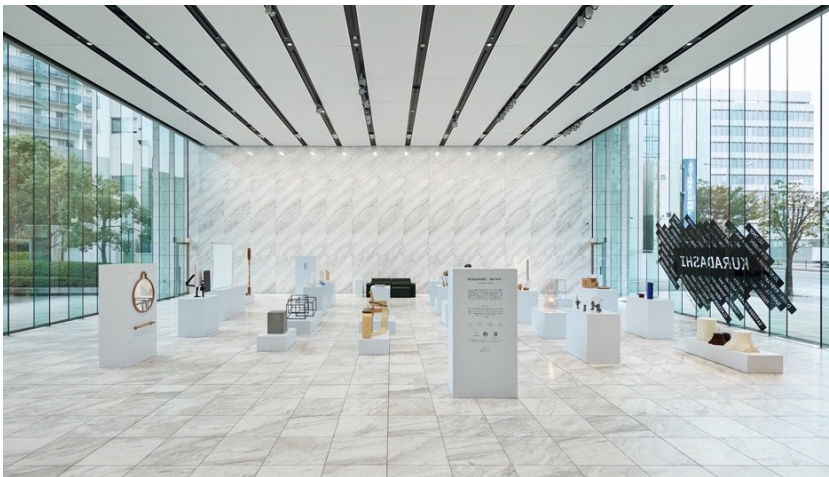
OFFICIAL PROGRAMS

オフィシャルコンテンツ

KURADASHI~発想の原型~

at WORLD Kita Aoyama

DESIGNART TOKYOが、クラウドファンディングサービス「うぶごえ」と共に企画・考案した新たなクリエイティブマーケット「KURADASHI」は、クリエイターが作品を生み出す時に、試行錯誤の最初の原型となるプロトタイプに着目。キュレーターとして参画したデザイナーの倉本仁の声掛けにより、国内外の若手から著名デザイナーまで30組のクリエイターが参加し、市場に出回っていない秘蔵の作品群が、ワールド北青山のメイン会場に集まりました。展示作品はすべて「うぶごえ」上にて販売され、オンラインとオフラインをまたぐ新たな試みとしても注目を浴びました。「うぶごえ」上では販売開始から数時間でその半数以上が完売、最終的に展示会期と同じ10日間のあいだに38点、2,468,800円の売り上げを記録し、クリエイター達のアイデアや理想の詰まった作品は新たな愛用者に引き継がれました。



キュレーター：倉本仁

コーディネーター：今川拓人

空間デザイン：松延総司

参加クリエイター（50音順）：

秋山亮太、芦沢啓治、安積朋子、Anker Bak、
坂坂諭 / h220430、we+、Victoria Wilmotte、
Øivind Slaatto、Gabriel Tan、熊野亘、
Claesson Koivisto Rune、倉本仁、GELCHOP、
柴田文江、Sho Ota、鈴木元、Daniel Rybakken、
寺山紀彦、DRILL DESIGN、
長坂常 / スキーマ建築計画、藤城成貴、前田麦、
松山祥樹、minä perhonen、元木大輔、柳原照弘、
山中一宏、Yusuke Seki、YOY、吉行良平

協賛：うぶごえ株式会社

協力：株式会社ノムラデュオ
株式会社イーストウェスト



展示会場で使用されたグラフィックフィルムは株式会社ノムラデュオ、株式会社イーストウェストの協力のもと、人と環境に悪影響のある物質の使用を控えた環境配慮素材で構成され、サステナブルな展示空間作りを追求した試みとなりました。

来場者は実際の展示作品を見ながらオンライン上の「うぶごえ」プロジェクトページへアクセス、作品を購入することができました。

▶うぶごえページ：<https://ubgoe.com/projects/95>



OFFICIAL PROGRAMS

オフィシャルコンテンツ

OFFICIAL CHAMPAGNE Perrier-Jouët

200年余の歴史を誇る至高のシャンパーニュメゾン、ペリエ ジュエ。今年もDESIGNART TOKYOのオフィシャルシャンパーニュとして、開催に華を添えました。

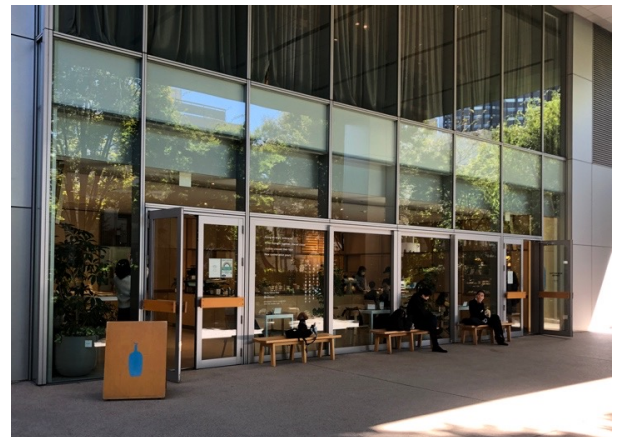
会期中には表参道GYREのGYRE.FOODにて、ペリエ ジュエとオーストリアのデザイナー、ミシャー・トラクスラーのコラボレーションによるアート作品「I am Nature」が世界初お披露目。デジタル技術を用いた体験型のアート作品はペリエ ジュエとミシャー・トラクスラーがともに持つ“Biodiversity（生物多様性）への敬意”が込められ、多くの人々に驚きや気づき、人間と自然との距離を考えるヒントをもたらしました。



OFFICIAL CAFE Blue Bottle Coffee

展示の見学や散策の途中に立ち寄れるDESIGNART TOKYO 2021オフィシャルカフェとして「BLUE BOTTLE COFFEE」の青山、六本木、恵比寿、銀座、広尾、渋谷の6店舗を展開。会期中は、DESIGNARTの公式Instagram アカウントをレジでご提示いただいた方に、ドリンク1杯のご注文につき、ブルーボトル 羊羹を1点プレゼントという特典もあり、多くの方にお楽しみいただきました。

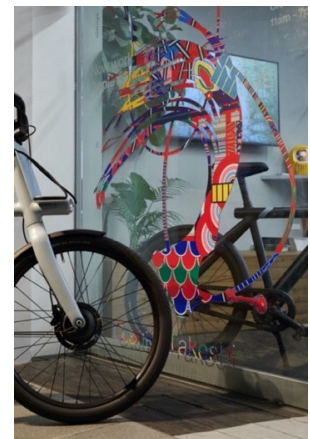
また、BLUE BOTTLE COFFEE六本木カフェではUNDER30受賞の注目の若手クリエイター、Kathleen Reillyの作品を展示いたしました。



OFFICIAL E-BIKE VanMoof

コンパクトなボディにパワフルなモーターを搭載し、スタイリッシュなデザインでスマートな乗り心地を実現する次世代型E-バイク「VanMoof」。今年も昨年に引き続き、DESIGNART TOKYOのモビリティパートナーとして、メイン会場のワールド北青山ビルに展示され、多くのご来場者の皆様にご試乗いただけました。

VanMoofブランドストア東京ではアーティスト大塚健とのコラボレーションが実現。店舗ファサードのガラスを用い大胆な表現が繰り広げられました。



AWARDS

アワード

UNDER30

初年度より継続している若手クリエイター支援プログラム「UNDER 30」。今年もDESIGNART発起人により選出された国際色豊かな5組のクリエイターの、未来を予感させるフレッシュな感性が光りました。



進藤篤：1991年生まれ。インテリアデザイナーとして活動する傍ら、日常に潜む素材の根源的な魅力に光を当てた作品を発表している。



AROUNDANT：1997年生まれの高木健太郎と1996年生まれの田中聡一郎のデザインユニット。東京都内にアトリエを構え、それぞれが大工と家具デザイナーとして活動している。



Kathleen Reilly：2018年にロイヤル・カレッジ・オブ・アートを卒業し、ロンドンのGallery SOIに所属。現在は新潟県燕市を拠点に活動しているスコットランド出身の金属工芸家。



Salt in：武蔵野美術大学を卒業した中国出身の劉杉杉と周修来によるデザインユニット。実験と試行錯誤を重ねながら、デザインの“塩加減”を模索している。



深地宏昌：デザイナー、アーティスト。1990年生まれ。多種多様なアナログの筆材を装着したプロッターを用い、デジタルとリアル境界に生まれる独自のグラフィックを表現を追求している。

CREATIVE CONFERENCE BRIDGE

クリエイティブ カンファレンス ブリッジ

Theme: 「Co-循環」

今年のDESIGNARTクリエイティブカンファレンスブリッジも、国内外から第一線で活躍する方々が登壇。デザイン、アート、建築と都市、テクノロジーをテーマに、パンデミック後のこれからのために、「Co-循環」の環（わ）を拡げ、未来へのアクションにつなげていくためのビジョンを語っていただきました。トークセッションはアンスティチュ・フランセ日本の共催のもと、オンライン配信プラットフォーム「ZAIKO」にて配信。また、パリ・台北を繋いで開催されたセッション1・2に関しては、日本語の他にフランス語・中国語にそれぞれ対応し、国内外のオーディエンスに届けることができました。

■ Session1：パリ・オリンピックにつなぐ、アフターコロナの建築と都市 対応言語：日本語／フランス語

登壇者：

隈研吾（建築家）

ドミニク・ペロー（建築家/都市計画家）

ファシリテーター：

山名善之（建築家/美術史家/東京理科大学理工学部建築学科教授）



photo: Yosuke Owashi

■ Session2：日本×台湾! デザインを語る新しいことばをアジアから発信しよう 対応言語：日本語／中国語

登壇者：

張基義/ジイー・チャン（台湾デザイン研究院院長）

ジョニー・チウ（建築家/J. C. Architecture創設者）

鈴木啓太（プロダクトデザイナー/PRODUCT DESIGN CENTER代表）

ファシリテーター：

木田隆子（「エル・デコ」ブランド・ディレクター）



© Nacása & Partners

■ Session3：Art is Lifeline. 日本でアートの民主化は起こるのか？

登壇者：

服部今日子（フィリップス・オークションアジア日本代表・ディレクター）

石井孝之（タカ・イシイギャラリー代表）

ファシリテーター：

岩淵貞哉（「美術手帖」総編集長）

■ Session4：手技とテクノロジーで回す、サステイナブルなものづくり

登壇者：

倉本仁（プロダクトデザイナー/JIN KURAMOTO STUDIO代表）

豊田啓介（建築家、noiz/gluon/東京大学生産技術研究所特任教授）

ファシリテーター：

塚田有那（編集者/キュレーター/一般社団法人Whole Universe代表理事）



共催：アンスティチュ・フランセ日本
協力：ZAIKO株式会社



EVENTS

イベント

DESIGNART TOKYO 2021会期中にはさまざまな関連イベントが開催されました。各出展者主催のレセプションパーティや、トークイベント、職人を招いてのワークショップ、ミニコンサートなど、他種多様なイベントをフィジカル・オンライン双方で多くの方々にお楽しみいただきました。

Velocity of Colours: Talk Show at FLEXFORM TOKYO (YouTube)

FLEXFORM TOKYOにて繰り広げられたインスタレーションを手がけた建築家とキュレーターを交え、ブランドのデザインコンセプトからアートのある暮らしまで、トークショーはブランドのYouTubeチャンネルにて配信されました。

ONLINE



CLAY 10 minutes BAR at FUJIFILM DESIGN CENTER CLAY STUDIO

FUJIFILM design CLAYとmitosaya薬草園蒸留所のコラボレーションによる蒸留酒を楽しめる小さな小さなバー「CLAY 10 minutes BAR」が、DESIGNART会期中に限定オープン。

OFFLINE



鹿児島酒造組合 at HIBIYA OKUROJI

“ひらめく”フレーバー焼酎：鹿児島県の本格焼酎が日比谷オクロジに集合。鹿児島出身のグラフィックアーティストYOSHIROTTENがこの機会のために特別にデザインしたオリジナルラベル付き限定焼酎ボトルが、抽選でプレゼントされました。

OFFLINE



SALES RECORD

販売実績

総額 約2,100万円 (有効回答 20会場)

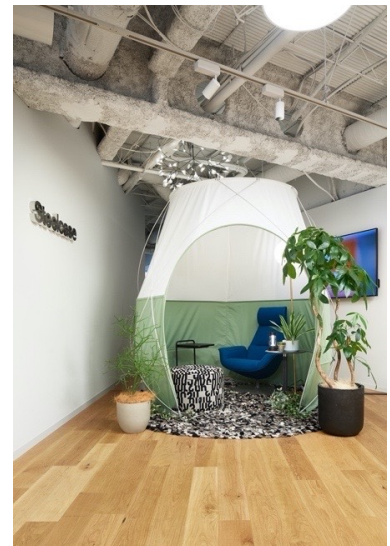
DESIGNARTは展示作品の販売を積極的に進めています。今年も、フェスティバル会期中に、数千円から数百万円の規模でアート作品やデザインプロダクトが購入され、昨年の記録（約1,100万円）から大きく販売実績を伸ばしました。



RISA MURAKAMI
at AREA TOKYO



H220430 / SATOSHI ITASAKA
curated by Design Pier & Merci Magazine
at Seibu Shibuya



Steelcase / Workplace Solutions Inc.
at Steelcase | WSI WorkLife Tokyo



EXHIBITORS

出展者

Designers / Artists

Akie Yoshida
ALUMIUM / ASAO TOKOLO, BEN NAGAOKA, KENICHI SHIKATA
ambi
Anker Bak
AROUNDANT / Kentaro Takagi, Soichiro Tanaka
ATSUSHI SHINDO
Baku Maeda
Brajak Vitberg
Claesson Koivisto Rune
Daisuke Motogi
Daniel Rybakken
DRILL DESIGN
FLOWER RIBBON SHOP / Miho Machida
Fudeya Corporation/Tadashi Takahashi & B6 studio/Tatsu Ogata
Fumie Shibata
fushigi design
Gabriel Tan
GELCHOP
Gen Suzuki
Hiromasa Fukaji
Hitomi Usui
Ilmari Tapiovaara
IMURA Kazuto
Inge Rylant
Jin Kuramoto
Jo Nagasaka / Schemata Architects
Johnny Chiu
Kathleen Reilly
KAYOKO KIMURA
Kazuhiro Yamanaka
KEIJI ASHIZAWA
Keita Suzuki (PRODUCT DESIGN CENTER)
Kensho Tambara
Klein Dytham architecture
KOHEI NAWA
M&T
MAKIKO TANAKA
Manami Numata
Masa Hayami
MAZZI FRANCESCO
Miho Machida
mischer*traxler
MULTISTANDARD
myna
Naoki Iijima
Norihiko Terayama
NORIKO HASHIDA
Øivind Slaatto
Oniki Design Studio
Otsuka Takeshi
Risa Murakami
Ryohei Yoshiyuki
ryoji takahashi
Ryota Akiyama
Sakiko Nomura / Masato Kawamura / Ryu Ika
salt in
Satoru Shimizu
Satoshi Itasaka / h220430
SEIKI DESIGN STUDIO / SEIKI ISHII
Shigeki Fujishiro
Sho Ota
SHOFU KOYAMA
Shota Suzuki
Sini Majuri
STUDIO KAZ + YASUTA Veneered Surfaces & Design
Takao Kawasaki
Talking about Curtains / Miki Sato
Tatsuro Shoji
Teruhiro Yanagihara
tetsuji tadokoro
TETSUO SUZUKA
Tomohisa Nagai

Tomoko Azumi
Tuulia Penttila
UNLABELED
Victoria Wilmotte
VITRO/RYOJI TAKAHASHI
Wataru Kumano
we+
YASUKO SATO
Yohei Chimura
Yoshikazu Yamagata
Yoshiki Matsuyama
YOY
Yuri Matumoto. Satoru Ookubo. Syunsuke Takase
Yusuke Seki

Brands / Companies / Galleries

ACOC
ACTUS
ALONGU / Tokyo Saikai Co., Ltd.
AREA Tokyo
ARIAKE COLLECTION
ars gallery
Artek
Atelier matic
athalie
B&B Italia
BLUE BOTTLE COFFEE
bud brand
BUNKITSU ROPPOINGI
CAL TOUGH
CIBONE & HAY / CIBONE CONNECT
complex665
Courtyard HIROO
COWORKINGSALON SLOTH JINNAN
Création Baumann
DAIKANYAMA HILLSIDE TERRACE SALON WEST
DAIKANYAMA TSUTAYA BOOKS
De Castelli
Design Pier & Merci Magazine
dotcom space Tokyo
elephant STUDIO
emeco / Naoto Fukasawa
ESPACE LOUIS VUITTON TOKYO
FLEXFORM TOKYO
Fondation d'entreprise Hermès
JIFILM DESIGN CENTER CLAY STUDIO
g KEYAKIZAKA
Gallery-SIGN
GAME/LIM/MINX/Of HAIR/Rougy/ZELE
GEIDAI FACTORY LAB
GINZA innit
Ginza Maison Hermès Le Forum
GINZA SIX
GYREFOOD (uni / bonélan)
HIBIYA OKUROJI
hotel koe tokyo
Iittala / Fiskars Japan Co., Ltd.
IMAGAWA / SUEMOKKO / TAKAHASHI KOUGEI / T-KRAFT /
Matsunagakenzaiten
Irifune studio
ITOSHIMA SEASIDE FACTORY
Jacadi GINZA
JAM HOME MADE
januka shop
JAPAN DESIGN BANK
JASMAL AOYAMA
Johanna Gullichsen & Rakusai Creations
KARAKURI powered by EPL inc.
KARE
Karimoku Commons Tokyo
Katsuki Connection
KEF
KINJO JAPAN / Shinya Kobayashi

KITSUCA / Takashi Umekawa
Knoll
Karimoku Furniture Inc. / KNS /
Karimoku Case Study / MAS / ILBK
KOBE Leather Cooperative
KOGEI Next
KOTARO NUKAGA
koyart
LIGHT BOX Studio Aoyama
London Gallery
Manu Mobiles
marumasu
minä perhonen
MITOSAYA BOTANICAL DISTILLERY
MOLp - Mitsui Chemicals
Nakano Seiyaku Co., Ltd.
Oji Holdings Corporation
OTA FINE ARTS
Paola Lenti
PaPiPress
PATIO PETITE WA Series
Perrier-Jouët
PERROTIN TOKYO
PHILLIPS
Piramide
pivoto
Poltrona Frau
Polygon Aoyama
PRADA JAPAN
RESONANCE MATERIALS Project
RIKKA gallery
Ritzwell & Co.
Roche Bobois
ROLF BENZ
Royal Furniture Collection Co., Ltd.
Salvatore Ferragamo
SankyoTateyama,inc. SankyoAlumi-Company
SCAI PIRAMIDE
SEIBU SHIBUYA
SHIBUYA PARCO / COMINGSOON
shibuya serumo building
ShugoArts
SPACE R
Steelcase/ Workplace Solutions Inc.
STUDIO ROW
Swiss FDFA, ICRC, Musée de l'Elysée and so+ba
Taka Ishii Gallery
TARO NASU
The Embassy of Switzerland in Japan
THINK OF THINGS
TIERS GALLERY by arakawagrip
Time & Style
TOKYO MIDTOWN
TOKYU PLAZA SHIBUYA
TOME HANE HARAI / SHOFU KOYAMA
TOMIO KOYAMA GALLERY
TORY BURCH GINZA
TSUYAMA FURNITURE / SEIKI DESIGN STUDIO
UNKNOWN HARAJUKU
VanMoof
WAKO WORKS OF ART
WORLD Kita-Aoyama
WOW! lab
Y.S.M PRODUCTS designed by SALTCO & akii
Y's OMOTESANDO
Yebisu Garden Place/
Tokyo Photographic Art Museum
YKK AP Inc.
Yushima Art & Okunote
ZEN FOTO GALLERY

OPENING CEREMONY

開会式

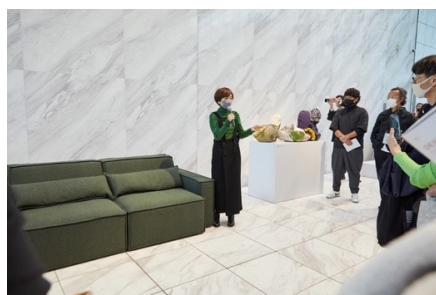
DESIGNART TOKYO 2021 開幕

10月22日（金）ワールド北青山

10月22日、メインエキシビションであるKURADASHI展が開催され、DESIGNART TOKYO 2021のインフォメーションセンターとなったワールド北青山ビルで、メディア関係者を中心に約80名が参加し、オープニングセレモニーが行われました。

代表の青木昭夫や発起人のアストリッドクラインから、厳しいコロナ禍にありながらこの状況をチャンスと捉えるクリエイティブへの希望が述べられ、発起人のほかKURADASHI展キュレーターの倉本仁氏、うぶごえ株式会社顧問藤本美沙子氏、出展デザイナーである柴田文江氏、鈴木元氏、長坂常氏、寺山紀彦氏を迎え、10日間のフェスティバルの幕があがりました。

また、セレモニーに続きKURADASHI出展デザイナーによる作品紹介、またワールド北青山ビルを彩るString Furniture、Bloom by Johnny Chiu x Kobe Leather、VanMoofによるプレゼンテーションが繰り広げられました。





t
design & art festival 2021

w
www.designart.jp

m
info@designart.jp

TOOLS

制作物

OFFICIAL GUIDEMAP

昨年まで発行していたOFFICIAL GUIDEBOOKをから、より多くの情報を公式ウェブサイトにデジタルシフトするとともに、より回遊に便利なガイドマップを充実させた形で刷新。地図情報はもちろん、出展会場のハイライトやスペシャルインタビューなどを含め、30,000部を発行。各展示会場のほか、都内各地で配布されました。



Cover image: Perrier-Jouët / mischer'traxler, Curiosity Cloud Mobile

INFORMATION CENTER

例年に続き今年もインフォメーションセンターをワールド北青山ビルに設置。オフィシャルガイドマップや各出展者のフライヤーの配布、近隣の展示情報の案内などの展開をしました。

また、今年初の取り組みとして、String®と空間デザイナーの松村和典が手掛けたインスタレーション「再生」がインフォメーションセンターを飾り、来場者を迎える顔となりました。



OFFICIAL SIGNAGES

DESIGNARTの公式カッティングシートやフラッグが今年も展示会場の目印となりました。

また、インフォメーションセンターの会場スタッフはDESIGNARTロゴを大きくあしらったオフィシャルTシャツを着用し、お客様をお迎えしました。





ONLINE CONTENT

オンラインコンテンツ

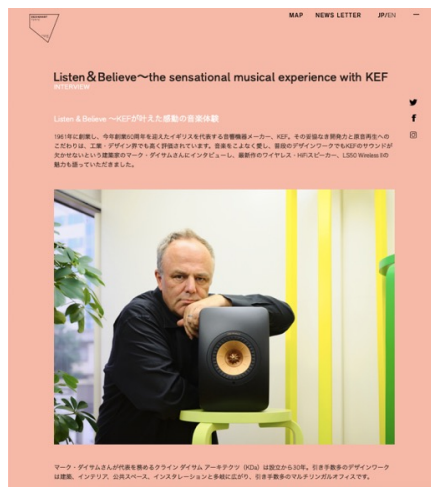
フィジカルとオンラインの融合を強化し 新しいイベントのスタンダードをアップデート

DESIGNART TOKYOは昨年に引き続き、フィジカルのみならずオンラインで作品やアーティストに触れることができるデザイン&アートフェスティバルとして、オンラインコンテンツの充実を図りました。オフィシャルWEBサイトの刷新、SNSの強化、また、オンライン上での販売プラットフォームを用いた企画KURADASHI、オンライン展示など、作品やブランドにふれるタッチポイントを増やしコミュニケーションの幅を大きく広げました。

OFFICIAL WEB SITE

日本語・英語に対応し、世界へ発信するオフィシャルサイト。今年はデザインを一新し、出展者情報、クリエイター・ブランドのプロフィール、イベント情報のほか、注目企画や協賛企業に関連するインタビュー記事やメディアパートナーの紹介など充実の内容が盛り込まれました。トップページには注目展示の画像をスライド掲載し、よりビジュアルに訴える構成となりました。

- ・ページビュー：約19万
 - ・ユニークユーザー：約4.8万
- (DESIGNART TOKYO 2021特設サイト公開日6月12日～11月18日実績)





t design & art festival 2021

w www.designart.jp

m info@designart.jp

ONLINE CONTENT

オンラインコンテンツ

OFFICIAL SOCIAL MEDIA

DESIGNARTの公式SNSアカウントでは、会期前から出展者の情報が毎日発信され、会期中には専門のSNS取材チームが各会場をまわり、会場の様子やイベント情報をアップ。活発なSNS配信は会期前後に2,500以上のフォロワー増加に繋がりました*。

(*数字は全て9月1日～11月18日実績)

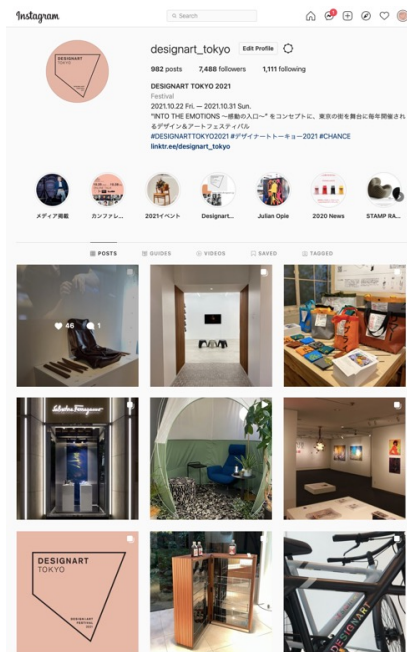
Instagram

リーチ：428,658

フィード：194投稿、8,230いいね

ストーリーズ：519投稿、155,700ビュー
(前年比約3倍)

フォロワー新規増加数：2,222人

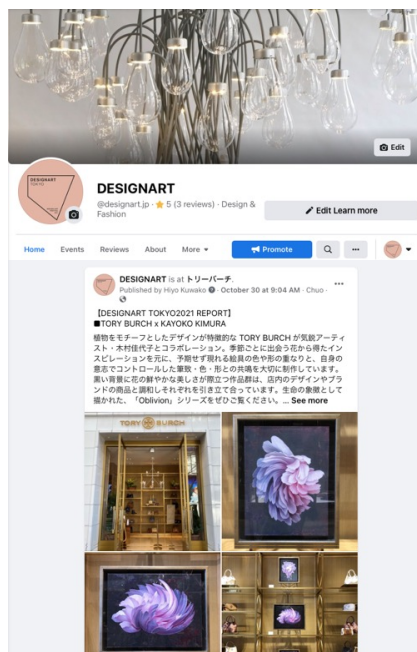


Facebook

リーチ：100,190

フィード：185投稿

フォロワー新規増加数：103人



Twitter

リーチ：69,590

(ツイートインプレッション+プロフィールへのアクセス)

フォロワー新規増加数：186人





ONLINE CONTENT

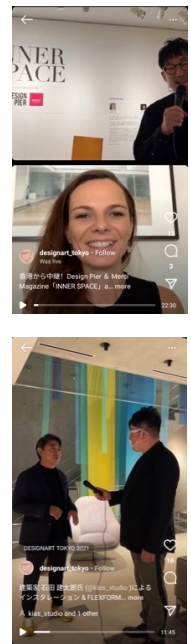
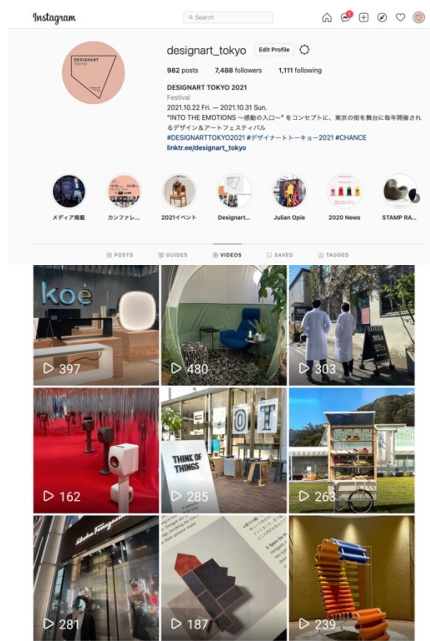
オンラインコンテンツ

Instagram LIVE REPORT

会期中に展示の紹介を生配信で行う LIVE REPORT。昨年好評だったこの企画を今年はInstagram上で展開しました。DESIGNART 発 起人である青木が、約50の会場を訪れ、アーティスト・クリエイターに直接インタビューをしながら作品を紹介。展示を見るだけでわからないストーリーやクリエイターの声を視聴者に届けることができました。また、コロナ禍により来日が叶わなかった海外在住キュレーターもLIVE REPORTを通して、プレゼンテーションを行うことができました。

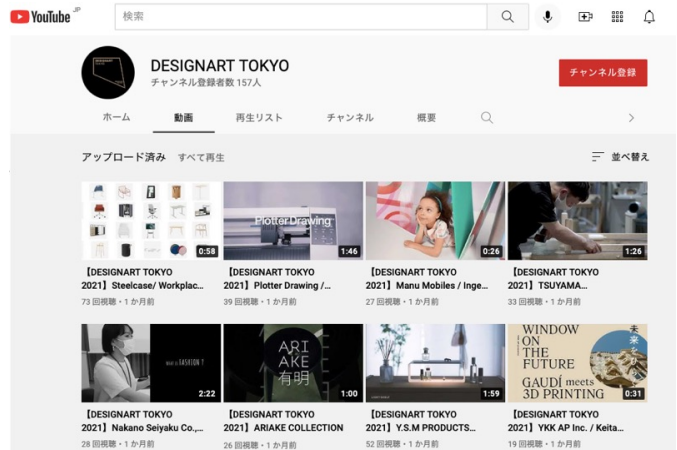
LIVE REPORT合計リーチ数：34,959

*LIVE REPORTはDESIGNART TOKYOの公式Instagramアカウント (@designart_tokyo)よりアーカイブにてご覧いただけます。



PRESENTATION MOVIES

昨年に引き続き、出展者のプレゼンテーション動画を公式Webサイトおよび、公式YouTubeチャンネルにて公開しました。プロダクトの背景やアーティストのクリエイションについて、動画によって多角的に知ることができるツールとなり、多くの方々に視聴いただきました。





ONLINE CONTENT

オンラインコンテンツ

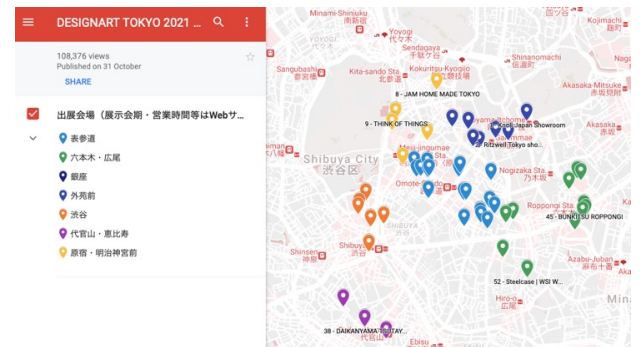
ONLINE GUIDE MAP

各出展会場をはじめ各地で配布されたオフィシャルガイドマップはオンラインカタログ共有ツールのissuuを使用し、デジタルでも公開されました。



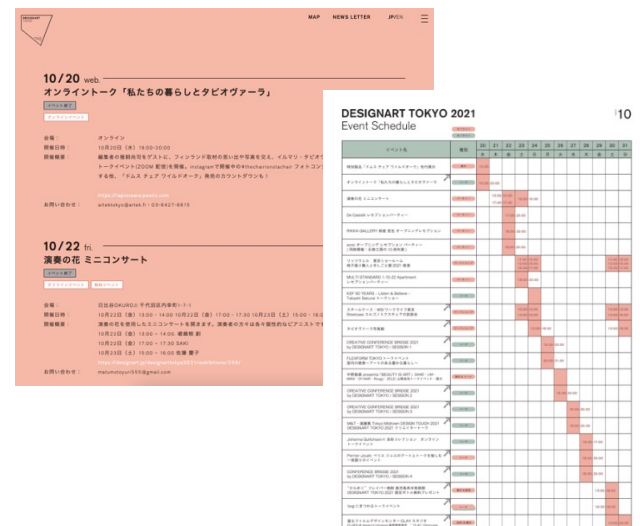
Google MAP

回遊に便利なのは印刷されたガイドマップだけではありません。DESIGNART TOKYO 2021の全ての出展会場を網羅したGoogle Mapは90,000を超えるビューを記録し、来場者をナビゲートしました。



EVENT GUIDE & SCHEDULE

フェスティバル会期中にはさまざまな関連イベントが開催されました。公式Webサイトには、それぞれのイベントの詳細情報に加え、関連イベントが一目でわかるイベントスケジュールが掲載されました。





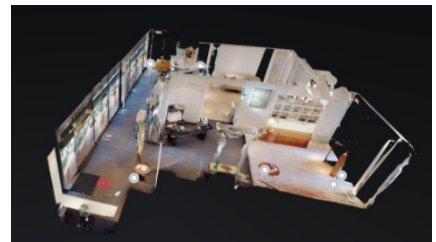
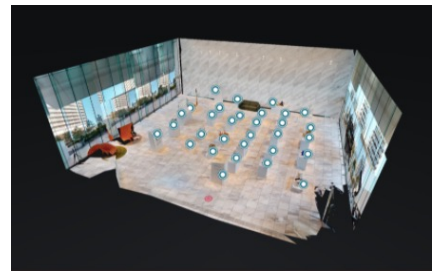
ONLINE CONTENT

オンラインコンテンツ

ONLINE EXHIBITION powered by ARCHI HACHI

コロナ禍による移動の制限が依然として続く中、世界のどこからでもDESIGNART TOKYOの展示をお楽しみいただけるONLINE EXHIBITION。今年も、ワールド北青山ビルで開催された「KURADASHI」、athalieで行われたイタリアのファニチャーブランド「De Castelli」の2会場が撮影され、公式WEBサイトに公開されました。

撮影：ARCHI HACHI



BEST REPORT CHALLENGE

来場者がDESIGNARTの展示やイベントを楽しみながらSNS上で発信する来場者参加型のコンテンツ、ベストレポートチャレンジを昨年に続き実施。投稿を見た多くの方にDESIGNART TOKYOを知ってもらおうきっかけにもなりました。今年はInstagramに焦点を絞り、集まった300件を超える投稿の中から、熱量のあるレポートをしてくださった方々に豪華賞品をプレゼント。

協力：VanMoof / String Furniture / Soda Stream / SPRING COPENHAGEN / KARIMOKU



1名



5名



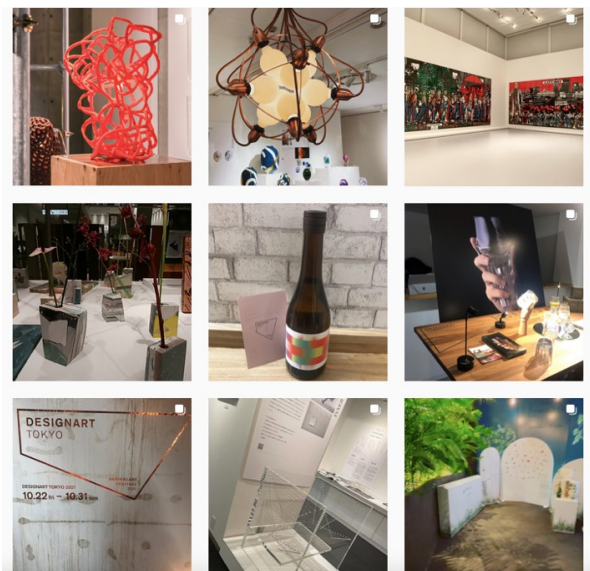
3名



3名



30名





PRESS

掲載実績

掲載数：約512記事（新聞 / 雑誌 / WEB / ラジオ）

国内外メディアパートナー：17媒体

DESIGNART TOKYOのPRチームは、各媒体とのリレーションシップを深めながら、より一層発信力を強めています。今年も、プレスリリースやSNS、様々なデジタルコンテンツを横断しながら、また、出展クリエイター・ブランド・企業の皆さまとの連動のもと、情報発信を展開。最終的には11月18日現在、記事掲載数は昨年の440から512に増加し、国内外の様々な媒体にフェスティバルについてレポートいただくことができました。

メディアパートナーは昨年の14媒体から17媒体に増え、国内外の感度の高いオーディエンスに向け広範囲に認知を広げています。特に海外メディアに関しては、長引くパンデミックの影響によりメディア関係者の来日が依然として叶わない中、インテリア・デザイン・アートにおいて特に影響力のある媒体との関係を深め、東京のデザイン・アートシーンの今を世界に向けて伝えることができました。

さらに、各媒体やジャーナリスト等インフルエンサーによるSNS投稿が増え、よりタイムリー且つパーソナルな内容の情報発信が多く見られたほか、特別に制作された動画レポートや出展関係者のラジオ出演など、発信方法の多様化も顕著に現れました。また、フェスティバル全体に関する記事のみならず、カンファレンス等の個別企画や、個別クリエイターに関する特集記事も数多く見られ、密度の濃いレポートが増えたのも今年の特徴の一つです。

メディアパートナー：



Beyond magazine



designboom

de zeen

ELLE DECOR DESIGN WALK 2021

FASHIONSNAPE.COM

I'm home.



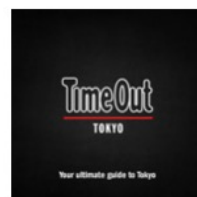
ONBEAT

SHIFT

商店建築

Spoon & Tamago

the Arthing



World Architecture Community



t design & art festival 2021

w www.designart.jp

m info@designart.jp

PRESS

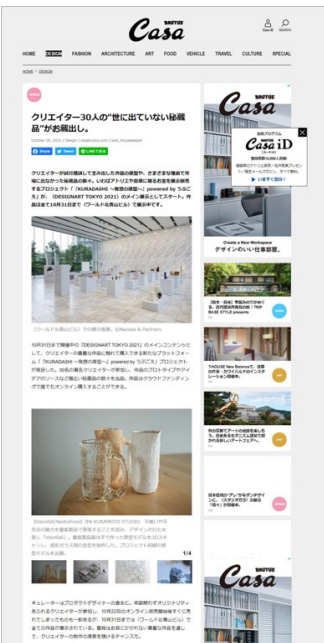
掲載実績

国内メディア

BEYOND



Casa BRUTUS



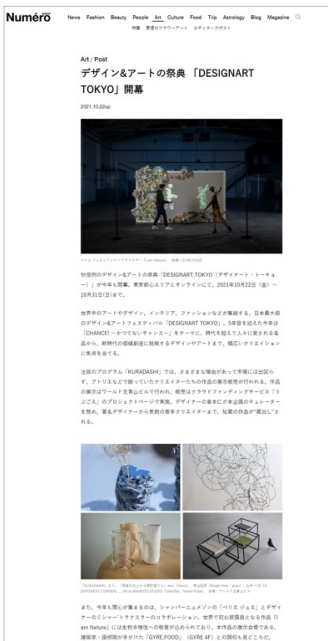
ELLE DECOR



FASHIONSNAP.COM



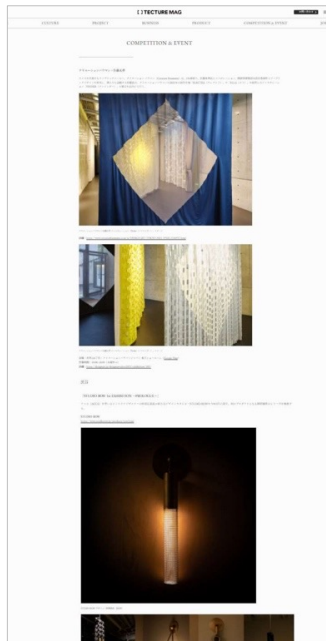
Numero TOKYO



Pen Online



TECTURE MAG



WWD





t design & art festival 2021

w www.designart.jp

m info@designart.jp

PRESS

掲載実績

海外メディア

ARCHITECTURE HUNTER

DESIGNART TOKYO 2021 HIGHLIGHTS

DESIGNART TOKYO is one of Japan's largest design and art festival, bringing to Tokyo a diversity of art, design, interior design and fashion from all around the world. Check below the highlights of the ten days of the festival, which challenged the creators, companies and brands with the theme "CHANCE".

KURADASHI
Kuradashi is a new creative market that offered an opportunity to view and purchase valuable and unavailable artworks. Planned and developed by DESIGNART TOKYO together with the Kuramoto and alpine, the service was a success, selling more than half of the works in a few hours.

SAISEI
The festival's entrance to welcome visitors was created by the Swedish furniture brand Sjöing and Kazuoji Kikumura. It demonstrated functionality and versatility, compatible

artprice.com

DESIGNART TOKYO

DESIGNART TOKYO 2021: all the exhibitions set to enliven the Japanese city this fall

DESIGNART TOKYO 2021 is an annual festival of art and design. With the concept of "THIS IS THE ENDLESS", leading talents in interior design, art, fashion, technology, and food will gather in Tokyo from all over the world. This multi-sensory festival becomes a stage of various presentations where visitors can enjoy exhibitions while strolling around the city and discover their favorite goods. DESIGNART transforms the city of Tokyo into a museum, creating many precious encounters by connecting people and experiences.

DESIGNART TOKYO 2021 OUTLINE
Start: October 22nd (Fri) ~ October 31st (Sun) (10 days)
Area: Chiyodami, Gaienmae / Harajuku, Higashi-Shinjuku / Shinjuku / Daitokya

designboom

DESIGNART TOKYO 2021: all the exhibitions set to enliven the Japanese city this fall

DESIGNART TOKYO 2021 is an annual festival of art and design. With the concept of "THIS IS THE ENDLESS", leading talents in interior design, art, fashion, technology, and food will gather in Tokyo from all over the world. This multi-sensory festival becomes a stage of various presentations where visitors can enjoy exhibitions while strolling around the city and discover their favorite goods. DESIGNART transforms the city of Tokyo into a museum, creating many precious encounters by connecting people and experiences.

DESIGNART TOKYO 2021 OUTLINE
Start: October 22nd (Fri) ~ October 31st (Sun) (10 days)
Area: Chiyodami, Gaienmae / Harajuku, Higashi-Shinjuku / Shinjuku / Daitokya

design anthology

DESIGNART Takes a Chance on New Talent

The theme of third annual Tokyo-based DESIGNART Tokyo annual design and art festival, with more than 50 events across neighborhoods across the capital. We round up our highlights of the inspiring art and design talent.

Black Friday, 50% Off

Spoon & Tamago

DesignArt Tokyo 2021 is Transforming the Metropolis into a Museum

DesignArt Tokyo will be following starting this week and running through the end of October. The annual celebration sees Tokyo transform into a living breathing museum. Over 100 artists and designers from all over the world are showcasing work at galleries, retail shops and other spaces for ten days from October 22 to October 31, 2021.

Kuradashi
Curated by designer Jin Kuramoto, Kuradashi is an exhibition that brings creators and users together through creating a community of purchase unique works of design that are not just for the market. Participating designers include Kazuoji Kuramoto, who is presenting a colorful book display album, Norihito Taniyama, with a unique lighting design made from paper, and other designers who, with Spoon & Tamago, have been a major force in creating a new creative market.

The Artling

DesignArt Tokyo 2021: "CHANCE"

DESIGNART TOKYO 2021 is an annual festival of art and design. With the concept of "THIS IS THE ENDLESS", leading talents in interior design, art, fashion, technology, and food will gather in Tokyo from all over the world. This multi-sensory festival becomes a stage of various presentations where visitors can enjoy exhibitions while strolling around the city and discover their favorite goods. DESIGNART transforms the city of Tokyo into a museum, creating many precious encounters by connecting people and experiences.

The Japan Times

DesignArt 2021 is all about getting lucky

DESIGNART TOKYO 2021 is an annual festival of art and design. With the concept of "THIS IS THE ENDLESS", leading talents in interior design, art, fashion, technology, and food will gather in Tokyo from all over the world. This multi-sensory festival becomes a stage of various presentations where visitors can enjoy exhibitions while strolling around the city and discover their favorite goods. DESIGNART transforms the city of Tokyo into a museum, creating many precious encounters by connecting people and experiences.

World Architecture

Highlights From Designart Tokyo 2021 Featuring Challenging Artworks

DESIGNART TOKYO 2021, one of Japan's largest design and art festivals, took place from October 22 to October 31 in the heart of the metropolis, showcasing a variety of art, design, interior design and fashion from all around the world.

World Architecture Community is official media partner of Designart Tokyo 2021 and bringing you the latest news from this year's festival. You can see WAC's previous coverage [here](#).



t design & art festival 2021

w www.designart.jp

m info@designart.jp

PRESS

掲載実績

紙媒体

WWD



merci magazine



The Japan Times

the japan times Weekend

Hide and seek: New looks for Japan's leather industry

On Design
MISO YAMADA
CONTEMPORARY WRITERS

Athough Japanese leatherworking produces the Edo Period (1603-1868), it is not high on the list of the nation's most famous crafts. However, the nation still boasts major hubs of leather remanufacturing, despite the fact that leather is not a natural resource. One design takes a look at three products that define leather in contemporary design.

Molding new ideas
The most renowned of Japan's men's Tokyo-based design unit, M&Y Hirose of clock, optician and artist Kenji Hirose, that would be responsible to make from conventional sheets of leather.

To create these minimalist, architectural pieces, Mitsu Hirose and Takahiro Kurahama of M&Y use a process they call U.L.M. (leather

The process leaves an interesting raw leather texture on the sculptural work, which M&Y has chosen not to add pigment to. Instead, they created a U.L.M. color palette by using the base of the original strap material.

The U.L.M. design has yet to be printed, but will be available to be at upcoming exhibitions, including the Biennale Design Museum (Biennale) from Nov. 22 to 26. Keep an eye on M&Y's website for more details.

http://mtydesign.jp/

Blooming leather
Producing supple leather for fashion and interior design is a challenging task by separating layers from the bottom. Some layers are made from different kinds of leather including waste, but the bottommost skin, which is not suitable to be used as a discarded, M&Y collects such scraps from factories in Sumida Ward, Tokyo's center of leather processing, and publishes them into books, which are then combined with a mixture of natural rubber and water before being pressed into uniquely shaped blocks.

as luxury outdoor furniture, not an interior piece.

Bloom focuses on the elasticity of Kobe leather, which Chai's bioprocessed leather is flexible enough to be folded for storage or wrapped.

Behind the striking aesthetic lies months of creating and strong by local leatherworkers. Stable Kishi, using a strengthening technique of sandblasting a layer of bioplastic between sheets of leather, and manufacturing by Fuyuko Nagai Shima, a furniture maker who had a hand in creating architect

Frank Lloyd Wright's interior 100 years ago.

As time goes on, the pieces are made from artforms. Bloom create a a significant piece — around \$1.8 million — and each chair can take up to a year to deliver. But what is often a laborious, environmentally conscious leather piece, comparable to a color of choice.

Shapes of things to come
Last month, Kivara, the design studio of Takashi Uozumi, launched its new line of minimalist but playful functional objects, with the release of Oufuta, a series of all-eco-friendly, vegetable-tanned leather handbags.

Inspired by every object and form, Kivara's motto is certainly "less is more." In a "bag" that is based on basic shapes — a triangle, rectangle and square — bags are intricately tailored after the outlines of their handle holes. Perfect Circle, Semicle and Oval.

Unlike many designer handbags, they are made from just two sheets of leather. The handle holes are cut out and there are no zippers — only clips at the bottom corners

The main theme of the Oufuta bag, designed by Takashi Uozumi, are not whole pieces of leather, with the handle hole pieces and corner stitching made from scraps.

to give the pieces volume. Each Oufuta bag also includes a matching zippered pouch made from the pieces of leather removed to create the bag's handles.

Now available online at Kivara's own website, Oufuta is available in brown and black and priced at \$497 for the Semicle and \$1,100 for the Perfect Circle and Oval, with an option to buy pouches on their own at \$140.

http://kivara.com

その他紙面掲載予定紙 (11月18日現在): 商店建築 / 2022年1月号 AXIS / 2022年1月号等

ラジオ

BLUE IN GREEN
@BlueInGreen813

J-WAVE [BLUE IN GREEN]

10月22日(金)から開催される「DESIGNART TOKYO 2021」を甲斐りかも体験！
本日の放送で現地の様子、注目作品など紹介します。

@DESIGNART_TOKYO

#jwave #blue813 #designarttokyo2021
#アート #デザイン

放送局 **J-WAVE**

放送時間 2021年10月27日 (金) 15:00-16:00

番組名 GOOD NEIGHBORS(PART2)

デザイナー 書生にふれお話をし、DESIGNART TOKYO 2021のみどころをたっぷりと！さらにROTH BART BARONもご登場！
▼13:15放送 [MORE BUILDING TOKYO PASSPORT]
東京オペラシティで開催中！「和辻謙策」をピックアップ！

▼14:10放送 [TALK TO NEIGHBORS (ブルーボトルコーヒーほか)]
デザイナーの書生にふれお話をし、現在開催中のDESIGNART TOKYO 2021、テーマは「CHANCE」〜かつてないチャンス〜というテーマで書生の本音に聞く見とるデザイン楽しみ方！

NAVIGATOR
CHRIS TOMOKO

MONDAY-THURSDAY 13:00-16:00



J-WAVE 81.3FM



t
design & art festival 2021

w
www.designart.jp

m
info@designart.jp

CREDIT

クレジット

ORGANIZER

主催

DESIGNART TOKYO COMMITTEE
デザイナートーキョー実行委員会

SUPPORT

後援

J-WAVE 81.3 FM
アンスティチュ・フランセ日本

SPONSORS

協賛

Perrier-Jouët
KEF Japan
うぶごえ株式会社
鹿児島県酒造組合
String Furniture
VanMoof
渋谷ファッションウィーク
GINZA SIX
株式会社ワールド
Blue Bottle Coffee Japan

COOPERATION

協力

株式会社中川ケミカル
株式会社ノムラデュオ
株式会社イーストウエスト
株式会社エフ
カリモク家具株式会社
Royal Furniture Collection
ソーダストリーム株式会社
株式会社ワールドプロダクションパートナーズ
株式会社ワールドスペースソリューションズ
ZAIKO株式会社
Paola Lenti Japan

MEDIA PARTNERS

メディアパートナー

Architecture Hunter
Artprice.com
BEYOND
design anthology
designboom
dezeen
ELLE DECOR
FASHIONSAP.COM
I'm home.
Merci Magazine
ONBEAT
SHIFT
商店建築
Spoon & Tamago
the Artling
TIME OUT TOKYO
World Architecture

FOUNDERS

発起人

Akio Aoki MIRU DESIGN
Shun Kawakami artless Inc.
Mark Dytham Klein Dytham architecture
Astrid Klein Klein Dytham architecture
Hiroshi Koike NON-GRID/IMG SRC
Okisato Nagata TIMELESS

DESIGNART TOKYO COMMITTEE

デザイナートーキョー実行委員会

Akio Aoki Creative Director
Yoko Yamazaki Knot Japan
Mio Shinozaki
Yasuyuki Fukatsu know Inc.
Kaori Yasui
Hisako Iijima

PRESS

プレス

Hitomi Kodaka Rehearsal
Yuko Miyazaki MIRU DESIGN
Hiyo Kuwako MIRU DESIGN

OFFICIAL GUIDEMAP

オフィシャルガイドマップ

Shun Kawakami artless Inc. / Art Director
Ayako Shien artless Inc. / Designer
Ryohei Sato SHINSHITSU / Designer
Toshiaki Ishii river / Copy writer

OFFICIAL WEBSITE

オフィシャルウェブサイト

Hiroshi Koike NON-GRID, IMG SRC / Web
Creative Director
Takuya Nishi NON-GRID / Web Producer
Hiroataka Nishikawa DigitalShift / Programmer

PHOTOGRAPHER

フォトグラファー

Nacása & Partners

TRANSLATOR

翻訳

Fraze Craze Inc.

ILLUSTRATOR

イラストレーター

Hama-House

SUPPORT MEMBERS

サポートメンバー

Gwenael Nicolas
Jungo Kanayama
Masaki Yokokawa
Masamichi Toyama
Masatoshi Kumagai
Mizuyo Yoshida
Tatsuro Sato
Yoshiko Ikoma

SPECIAL THANKS

Yukinari Hisayama Klein Dytham architecture
Yuko Yoshikawa Klein Dytham architecture
Masato Warita river
Kyosyu Mizohata
Hiroko Otake
Sayuri Shiraishi
Wakako Tanjo MIRU DESIGN

EVERLASTING MEMBER

Dai Takeuchi river